



この挑戦が、未来となる。

**MINI DISCLOSURE**  
**2023.09**

ミニディスクロージャー誌(営業の中間ご報告)



この挑戦が、未来となる。

**ちゅうぎんフィナンシャルグループ**

CHUGIN FINANCIAL GROUP, INC.

## 社長メッセージ

2023年12月  
株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ  
取締役社長 加藤 貞則



### 持株会社体制移行、 1年が経過して

2022年10月に持株会社体制へ移行して、1年が経過しました。本体制への移行を見据えて、当社ではお客さまの多様化・複雑化するニーズにお応えするためのソリューション体制を整えてまいりました。地域商社の「㈱せとのわ」をはじめ、投資専門子会社の「㈱ちゅうぎんキャピタルパートナーズ」、人材サービスを提供する「㈱ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ」、DXやSXのコンサルティングサービスを提供する「㈱Cキューブ・コンサルティング」、そして地域エネルギー会社である「㈱ちゅうぎんエナジー」などを設立してまいりました。これまでの銀行を中心とした体制から持株会社体制となることで、お客さまへより付加価値の高いサービスが提供できるようになりました。このような業務軸の拡大は、自治体等とのパートナーシップにも発展し、地域に新たな価値を提供しています。

また、社内においても多様な感性に裏付けられた価値観が醸成され、社内ベンチャー制度である「ちゅうぎんオープンラボ」からさまざまな事業アイデアが生まれるなど、社内外において好循環を生み出しています。

### 中期経営計画 「未来共創プラン ステージⅢ」スタート

構造改革、ハード面の強化に重点を置いた「ステージⅠ」、行動改革、ソフト面の強化に重点を置いた「ステージⅡ」を受けて、成果発揮と新たな挑戦を目指す2023年度からの「ステージⅢ」がスタートしています。

「ステージⅢ」の“成果発揮”とは、2017年度に始まった長期経営計画の最終ステージとして、これまでの改革を土台に計画目標を達成することであり、“新たな挑戦”は、ちゅうぎんフィナンシャルグループの初めての中期経営計画として次の10年に向けた新たな挑戦の始まりという位置付けです。

「ステージⅢ」を着実に実行していくために6つの重点課題「地域経済・社会の活性化」「少子高齢化社会への対応」「DXの推進」「多様な人財の活躍推進」「環境経営の促進」「ガバナンスの高度化」を定め、それを具体化させる取組みとして3つの成長戦略「地方創生SDGsの『深化』」「イノベーションの創出」「グループ経営基盤の強化」を策定しました。出資や伴走支援、コンサルティングなどとともに効率化、合理化により捻出した人財への投資、ダイバーシティ&インクルージョンへ積極的に取り組むことで“成果発揮”と“新たな挑戦”を実現してまいります。

### ちゅうぎんグループが 目指す未来

ちゅうぎんフィナンシャルグループと13のグループ会社から成るちゅうぎんグループでは、2026年度の中期経営計画の最終年度に加え、その先の2030年もターゲットとして捉えています。2030年は国連が定めるSDGsの達成年であること、ちゅうぎんグループのカーボンニュートラルの達成年であること、また中国銀行の設立100周年にあたります。

地域の脱炭素化、DX、SX、ダイバーシティ&インクルージョン、事業承継、産業振興などさまざまな課題が地域には山積しています。これらの課題に対しちゅうぎんグループでは、2030年までに地域を面で捉えた取組みの拡大や地域同士のシナジーを生み出し「地域トランスフォーメーション」を起こしていきたいと考えています。ちゅうぎんグループの取組みが地域の持続的な発展、豊かな未来につながり、安全・安心して生活できる、人々が住みたい、集まりたい地域の形成への一助になればと思っています。

これからも挑戦を続けるちゅうぎんグループをどうぞよろしくお願いたします。

ちゅうぎんフィナンシャルグループのサステナビリティ経営  
**中期経営計画**  
**「未来共創プラン ステージⅢ」**

**成果発揮&新たな挑戦**

2023年度から2026年度の4年間を計画期間とする本計画は「長期経営計画の最終ステージ」であり「ちゅうぎんフィナンシャルグループの第一次中期経営計画」です。

右記の「3つの成長戦略」により、ステージⅠ・Ⅱの改革をベースに成果を発揮し、長期経営計画のKPIの達成を目指すとともに、次の10年に向けた、新たな挑戦をおこなっていきます。

**1 地方創生SDGsの「深化」**

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し  
**「地域の持続的な発展」**に貢献します

地方創生	▶ DX・SXを起点とした地域を面で捉えた取組み、創業支援、SDGs活動を強化
地域応援活動	▶ 川上から川下までの一貫したソリューションを提供 ▶ サステナブルファイナンスを強化
ライフプランサポート活動	▶ お客さまのライフプランの実現を支援 ▶ 安定した資産形成・安心する資産承継の支援を強化

対応するマテリアリティ

- 地域経済・社会の活性化
- 少子高齢化社会への対応
- 環境経営の促進
- DXの推進

**2 イノベーションの創出**

次なる成長に向けた  
**「新たな価値」**を創造します

DX	▶ 業務プロセス改革・次世代チャネル・デジタル人材育成を推進
新規事業	▶ 協業によってグループ独自の新規事業を創出
アライアンス	▶ 広域連携・地域連携・異業種連携を積極的に展開

対応するマテリアリティ

- DXの推進
- 多様な人材の活躍推進

**3 グループ経営基盤の強化**

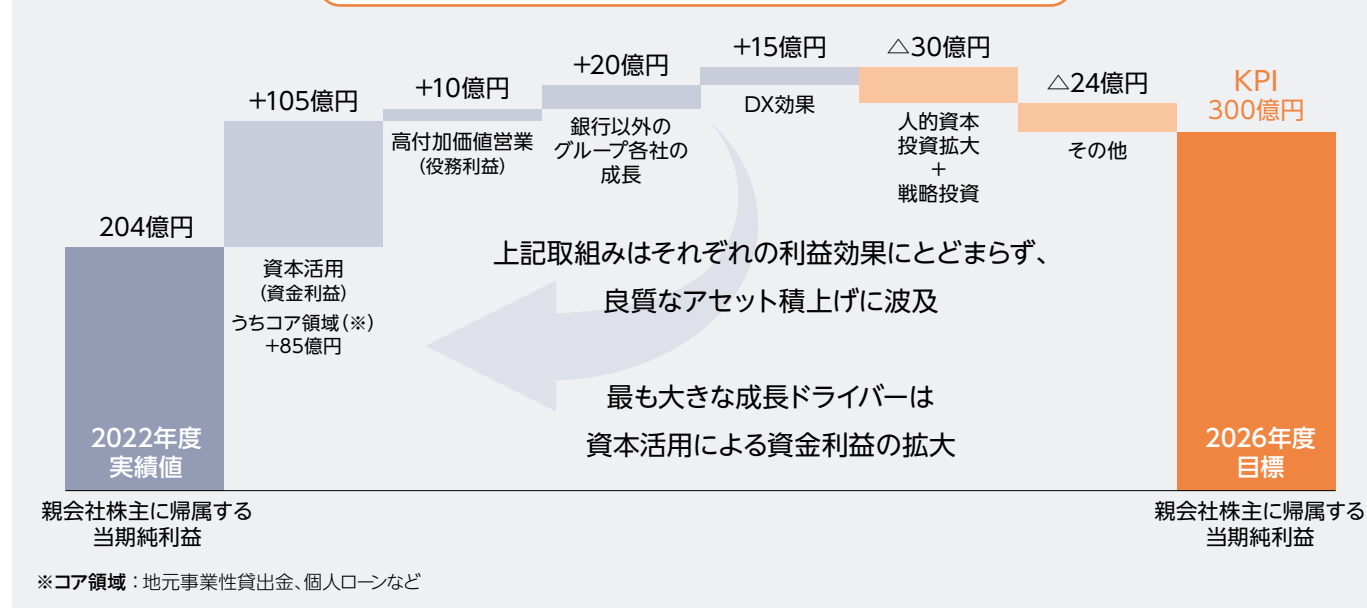
成長戦略を実行するための  
**「強固な土台」**を築きます

ポートフォリオ	▶ 事業ポートフォリオの最適化と経営資源の戦略的な配賦を実践
財務資本	▶ 健全性・収益性・株主還元観点で適切な財務運営を実行
人的資本	▶ 事業戦略に沿って「人的資本投資」を大幅に拡大
ダイバーシティ	▶ 多様な人材の採用・活躍推進を強化
ガバナンス	▶ グループ全体での内部統制システムを高度化

対応するマテリアリティ

- 多様な人材の活躍推進
- ガバナンスの高度化
- DXの推進

**利益成長イメージ**



地域社会やお客さまの課題に対して、  
 グループ全体で、上流から面で取組むことによって良質なアセットを積み上げていく計画です。

グループ各社の成長 <b>+20億円</b>	銀行との連携を強みとして、お客さまへの複合提案を強化 さまざまな知見を活かし、金融の範囲を超えて地域課題の解決をリード	<p><b>3 グループ経営基盤の強化</b></p> <p><b>2 イノベーションの創出</b></p> <p><b>1 地方創生SDGsの「深化」</b></p>
高付加価値営業 <b>+10億円</b>	お客さまの課題に対する高いコンサルティング (法人) 川上から川下まで一貫したソリューション (個人) お客さまのライフイベントやニーズに応じた最適なアプローチと提案	
DX効果 <b>+15億円</b>	業務プロセスや次世代チャネルの変革を通じて、 トップラインの拡大やリソースの捻出を実現	
資本活用 <b>+105億円</b>	アセット全体戦略(貸出金を中心にアセット残高+1兆円) <ul style="list-style-type: none"> <li>コア分野: サステナブルファイナンスや地方創生、シェア拡大を通じた地元貸出金の増加</li> <li>戦略運用分野: 再生エネルギー、地域へのエクイティ、海外支店の活用、リースを含めた新事業などの戦略分野の強化</li> <li>市場性運用分野: 貸出金・有価証券の一体運用による高いリスク/リターン(RORA等)の追求</li> </ul>	

## ちゅうぎんグループ サステナビリティ基本方針

ちゅうぎんグループは、ミッション(グループ経営理念)、ビジョン(経営ビジョン)、バリュー(ちゅうぎんバリュー)、コードオブコンダクト(企業行動規範・行動指針)の実践を、サステナビリティへの取組みの基本方針とします。

ちゅうぎんグループは、さまざまなステークホルダーとの対話にもとづき、環境や社会の課題に長期的視点で向き合い、企業活動を通じて、「地域社会の発展への貢献」と「企業価値の向上」の永続的な好循環を創り出します。

また、グループ役員一人ひとりが、これらの取組みの意義を理解し、自律的に行動することで、未来世代にとって安心・安全、そして豊かな地域づくりへ貢献します。

### ちゅうぎんグループSDGs宣言

ちゅうぎんグループは、「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」というグループ経営理念のもと、事業活動を通じて次の6つの環境・社会課題に取り組んでいくことで「地域社会の発展への貢献」と「企業価値の向上」を目指します。



重点課題	主な取組み	関連する目標
地域経済・社会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題解決や多様なお客さまニーズに沿った各種商品・サービス、コンサルティング等の提供</li> <li>事業活動を通じた持続的な地域・まちづくり</li> <li>SDGsの普及、次世代人材の育成、金融リテラシー向上</li> </ul>	8, 9, 11, 17
少子高齢化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産形成層、資産承継層等ライフステージに応じたお客さまニーズへの対応</li> <li>地域の住みやすいまちづくりへの貢献</li> </ul>	3, 11, 17
DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のDX・SX促進支援</li> <li>各種サービス、コンサルティング等の提供によるデジタル化の支援</li> <li>デジタル技術やツールを活用した業務効率化</li> </ul>	4, 8
多様な人材の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロ人材の育成、専門人材の活躍の場の創出</li> <li>ダイバーシティの理解・多様な働き方・組織風土づくりの促進</li> <li>従業員のウェルビーイングややりがいの向上</li> </ul>	4, 5, 10
環境経営の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>お取引先の脱炭素化促進のご支援</li> <li>環境負荷の低減(省エネ・ペーパーレス・3Rの取組み)</li> <li>気候変動への対応、生物多様性の保全</li> </ul>	6, 7, 12, 13, 14, 15, 17
ガバナンスの高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>収益・リスク・資本のバランスのとれた健全なリスク管理</li> <li>グループガバナンスの強化</li> <li>コンプライアンス最優先の企業文化の醸成</li> </ul>	8, 16, 17

## 新設会社について

### 株式会社ちゅうぎんエネルギー設立

2023年4月3日(月)、ちゅうぎんフィナンシャルグループの子会社の株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズが100%出資する地域エネルギー会社「株式会社ちゅうぎんエネルギー」を設立しました。

ちゅうぎんエネルギーは、地域資源の活用により再生エネルギーの地産地消を促進することで、地域社会の持続的成長に貢献していきたいと考えています。

#### ちゅうぎんエネルギーの取組み



### 西粟倉百年の森林でんき設立

ちゅうぎんエネルギーは、西粟倉村の持続的な地域づくりのための取組み「百年の森林構想」に賛同し、同村および三ッ輪ホールディングス株式会社、テクノ矢崎株式会社とともに「西粟倉百年の森林でんき株式会社」を設立しました。

ちゅうぎんエネルギーは、事業収支計画の妥当性精査・資金調達サポートを主に担い、同村のエネルギーの地産地消をサポートすることで村内の経済循環と脱炭素化推進に貢献します。



### 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズと業務提携

ちゅうぎんエネルギーは、地域脱炭素の取組みを加速させるため、株式会社アイ・グリッド・ソリューションズと業務提携しました。

アイ・グリッド・ソリューションズと共同で太陽光PPA事業(※)をおこなうことで地域脱炭素の取組みを加速させることを目的としています。

両社のシナジー効果によって再エネを創出し、それらを循環させることで地域カーボンニュートラルの実現を目指しています。



※ 太陽光PPA事業：PPAとは「Power Purchase Agreement(電力販売契約)」の略称で、PPA事業者が需要家の屋根等のスペースに無償で太陽光発電システムの設置と運用・保守をおこない、発電した電力を需要家が購入・活用するモデルのこと

# パートナーシップで 魅力ある地域の共創へ

## 自治体との連携強化

各自治体と連携を強化し、多様化・複雑化するニーズに積極的にお応えしてまいります。

ちゅうぎんグループとして、岡山県内外の自治体と各種連携を強化しています。

### ちゅうぎんフィナンシャルグループ

#### 岡山県高梁市

2022年11月  
・地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定

### Cキューブ・コンサルティング

#### 広島県府中市

2023年1月  
・脱炭素社会実現に向けた地域経済分析および再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査業務の受託

2022年9月以降に各種連携を強化した自治体

2022年8月以前に各種連携を強化した自治体

### ちゅうぎんフィナンシャルグループ

#### 岡山県真庭郡新庄村

2023年5月  
・地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定



### ちゅうぎんフィナンシャルグループ

#### 岡山県真庭市

2022年11月  
・地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定



### ちゅうぎんフィナンシャルグループ

#### 岡山県苫田郡鏡野町

2023年10月  
・地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定



### Cキューブ・コンサルティング

#### 岡山県真庭郡新庄村

2023年8月  
・新庄村DX推進支援業務の受託  
・新庄村持続可能な森づくりを目指す造林事業委託業務の受託

### Cキューブ・コンサルティング

#### 岡山県津山市

2023年9月  
・脱炭素先行地域申請支援業務受託

### 中国銀行

#### 岡山県和気郡和気町

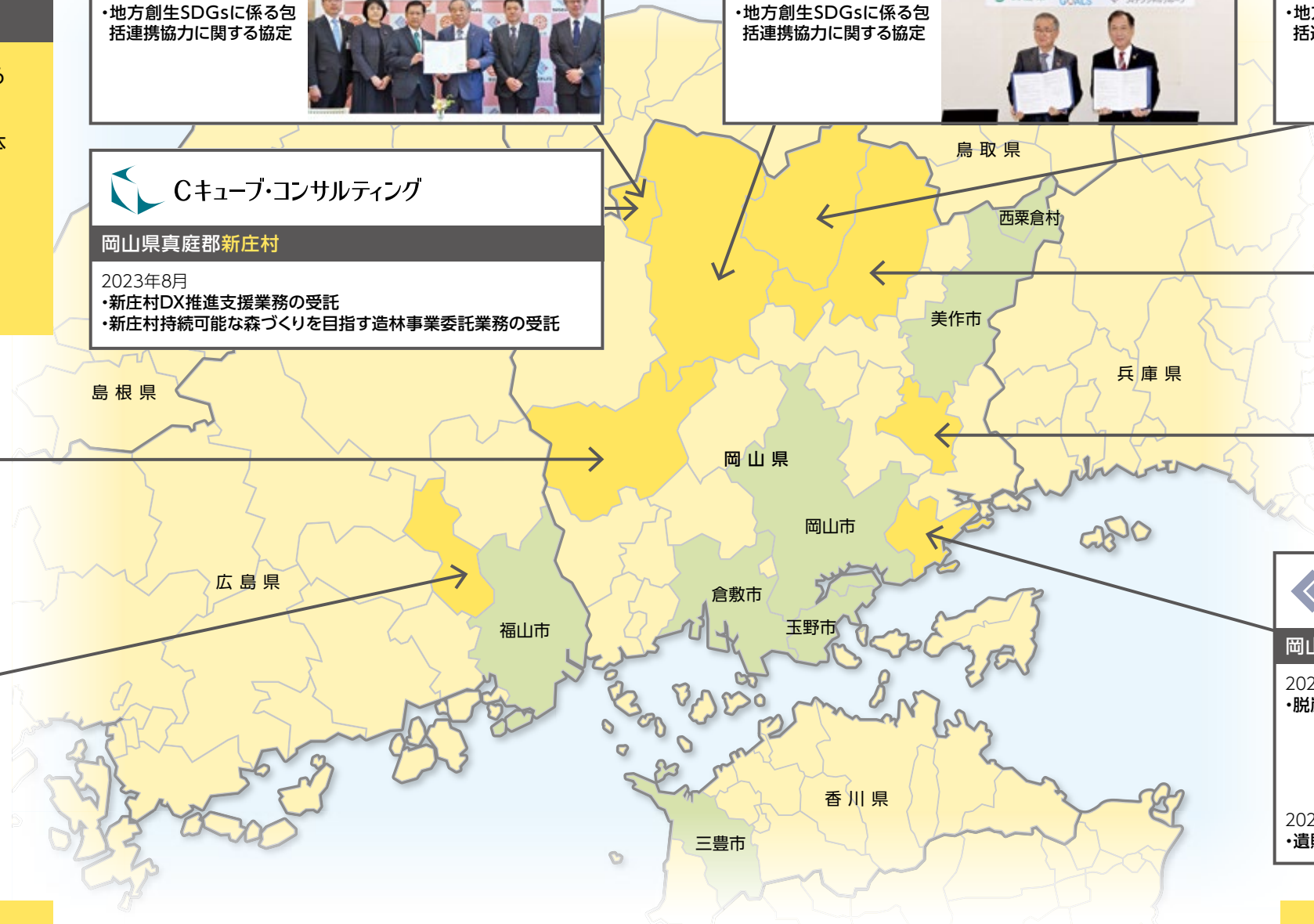
2022年9月  
・地域の脱炭素化に係る連携と協力に関する包括協定

### 中国銀行

#### 岡山県瀬戸内市

2023年6月  
・脱炭素先行地域選定

2023年8月  
・遺贈による寄附に関する協定書締結

## SDGsの取組みについて

### 「ちゅうぎんの森」整備区域拡大

ちゅうぎんフィナンシャルグループでは、2008年から植栽・下刈り・間伐などの整備をおこなってきた「ちゅうぎんの森」について、2022年11月に真庭市と締結した「地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定」にもとづき、このたび整備区域を16haから19haに拡大しました。

今後も環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。



### 電気自動車(ekクロスEV)導入!

2023年7月、中国銀行は温室効果ガス削減に向けた取組みの一環として、三菱自動車の電気自動車「ekクロスEV」を総社支店に1台導入しました。

また、2023年9月には小橋支店へ3台導入し、今後順次導入予定です。

ちゅうぎんフィナンシャルグループでは「ちゅうぎんグループサステナビリティ基本方針」にもとづき、CO<sub>2</sub>排出量削減目標として2030年度末までにScope1(※1)、Scope2(※2)のネットゼロの達成を目指しています。

※1 Scope1: 燃料消費を通じた自社の直接排出量(ガス、ガソリンなど)

※2 Scope2: 他社から供給された間接排出量(電気、熱などの使用)



### 再生可能エネルギー由来の電力導入

ちゅうぎんフィナンシャルグループでは、2023年10月より中国銀行の本店ビル等で使用する電力について、中国電力株式会社が提供する「再エネ特約プラン」を導入しています。本店ビル等で使用する電力の100%を再生可能エネルギー由来で調達でき、中国銀行全体の使用電力にかかる年間CO<sub>2</sub>排出量の35%程度に相当する約3,700tを削減できる見込みになります。



## 新商品・新サービスについて

### 「ちゅうぎんCMサービス MITAI」開始

中国銀行では、2023年4月より岡山県と広島県の一部店舗において、待合ロビーのデジタルサイネージ(映像表示モニター)を活用し、地域のお客さまの広告動画を有償放映する「ちゅうぎんCMサービス MITAI」を開始しました。

本サービスは社内ベンチャーの取組みである「ちゅうぎんオープンラボ」から生まれたサービスであり今後も営業現場の従業員のアイデアを積極的に取り入れたサービスを提供し、地域の発展に貢献してまいります。



### 税金等の口座振替手続きにおける「印鑑レス」取扱開始

中国銀行では、岡山県内に本社を置く8金融機関(※)と共同で、岡山県内の税金等の口座振替手続きについて、届出印の押印を省略する「印鑑レス」の取扱いを2023年4月から、順次開始しております。届出印の押印に代えて、キャッシュカードと暗証番号を用いた本人確認をすることで手続きを可能にしました。

※ トマト銀行、おかやま信用金庫、水島信用金庫、津山信用金庫、玉島信用金庫、備北信用金庫、吉備信用金庫、備前日生信用金庫

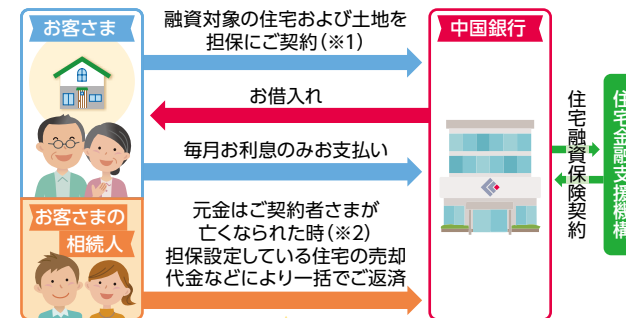


### 「ちゅうぎんリ・バース60」取扱開始

中国銀行では、多様化するシニア世代の住宅資金ニーズに応えるため「ちゅうぎんリ・バース60」の取扱いを開始しました。独立行政法人住宅金融支援機構の制度を活用したリバースモーゲージ型住宅ローンで、ご自宅を担保にしてそのまま住み続けながら住み替え、建替え、リフォーム、住宅ローンの借換え、サービス付き高齢者向け住宅の入居一時金といった住宅関連資金にご利用いただけます。

※1 資金使途がサービス付き高齢者向け住宅入居一時金の場合は、住み替え前の住宅・土地に担保設定します。

※2 連帯債務の場合は、債務者、連帯債務者がお二人とも亡くなられた時。

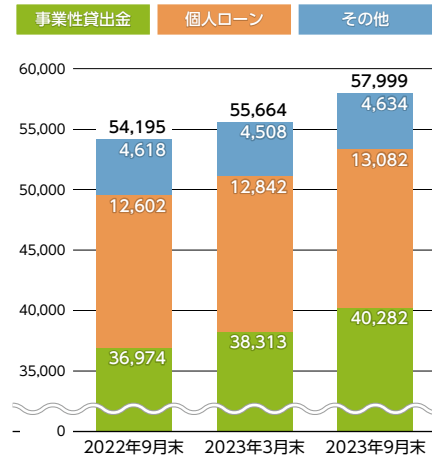


お借入れ残高が売却代金を上回る場合でも相続人の方に残高をお支払いいただく必要はありません。

# 営業の概況

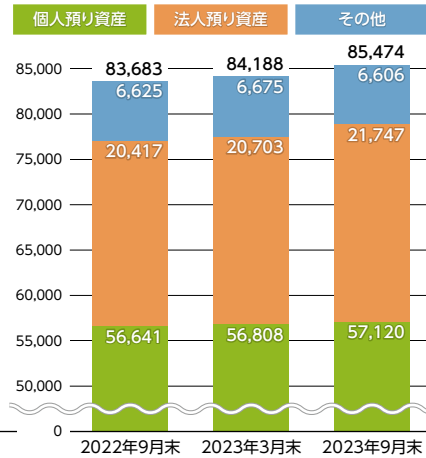
※貸出金残高、預り資産の状況、有価証券残高は中国銀行単体の計数となっております。

## 貸出金残高 (単位:億円)



事業性貸出金、個人ローンともに増加し、9月末残高は5兆7,999億円となりました。

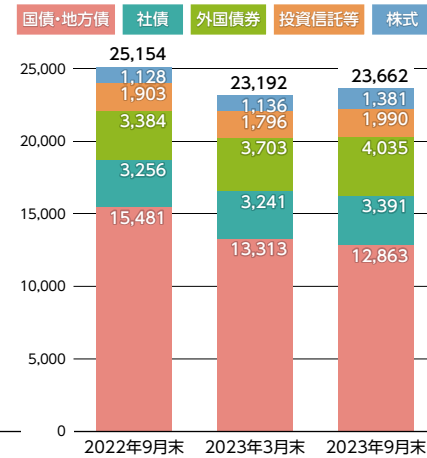
## 預り資産の状況(注) (単位:億円)



個人預り資産、法人預り資産ともに増加し、預り資産全体の9月末残高は8兆5,474億円となりました。

(注) 預り資産：預金、譲渡性預金、公共債・投資信託  
窓口販売

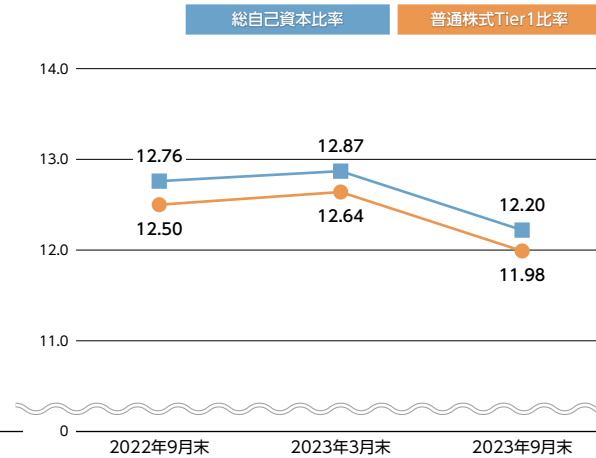
## 有価証券残高 (単位:億円)



有価証券運用につきましては、株価や内外金利動向等に配慮しつつ運用した結果、9月末残高は2兆3,662億円となりました。

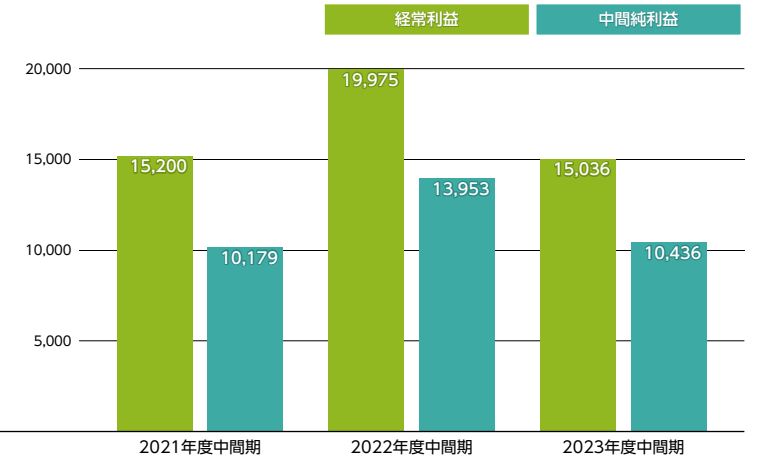
※自己資本比率については、2023年9月末および2023年3月末はちゅうぎんフィナンシャルグループ連結、2022年9月末は中国銀行連結の計数となっております。  
※損益について、2023年度中間期はちゅうぎんフィナンシャルグループ連結、2022年度中間期および2021年度中間期は中国銀行連結の計数となっております。  
また、2022年度中間期については、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しております。

## 自己資本比率 (単位:%)



2023年9月末の総自己資本比率は12.20%、普通株式Tier1比率は11.98%となりました。

## 損益 (単位:百万円)



経常利益は、中国銀行における外貨調達コストの増加や貸出金残高増加にともなう与信費用の増加等を主因に前年比49億39百万円減益の150億36百万円となりました。

なお中間純利益については前年比35億17百万円減益の104億36百万円となりました。(1株当たりの中間純利益56円89銭)

## CORPORATE DATA (2023年9月30日現在)

商号	株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
本店所在地	岡山県岡山市北区丸の内一丁目15番20号
設立日	2022年10月3日
資本金	160億円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード5832)
ホームページ	<a href="https://www.chugin-fg.co.jp">https://www.chugin-fg.co.jp</a>

## 中国銀行の概要 (2023年9月30日現在)

前身銀行創立	1878年(明治11年)12月9日
創立	1930年(昭和5年)12月21日
本店所在地	岡山市北区丸の内一丁目15番20号
資本金	151億円
店舗数	140か店(本店、国内支店129、出張所5、特別出張所3、海外2) 上記のほか、店舗内店舗方式の支店を23か店、同方式の出張所を2か店、インターネット支店を1か店それぞれ設置しております。 事務所1(東京) 海外駐在員事務所3(ニューヨーク、上海、バンコク)
店舗外現金自動設備	202か所(227台)
従業員	2,693名(出向者188名を除く)
主要勘定	預金残高 7兆9,748億円 貸出金残高 5兆7,999億円 有価証券残高 2兆3,662億円
ホームページ	<a href="https://www.chugin.co.jp">https://www.chugin.co.jp</a>

## 格付けについて

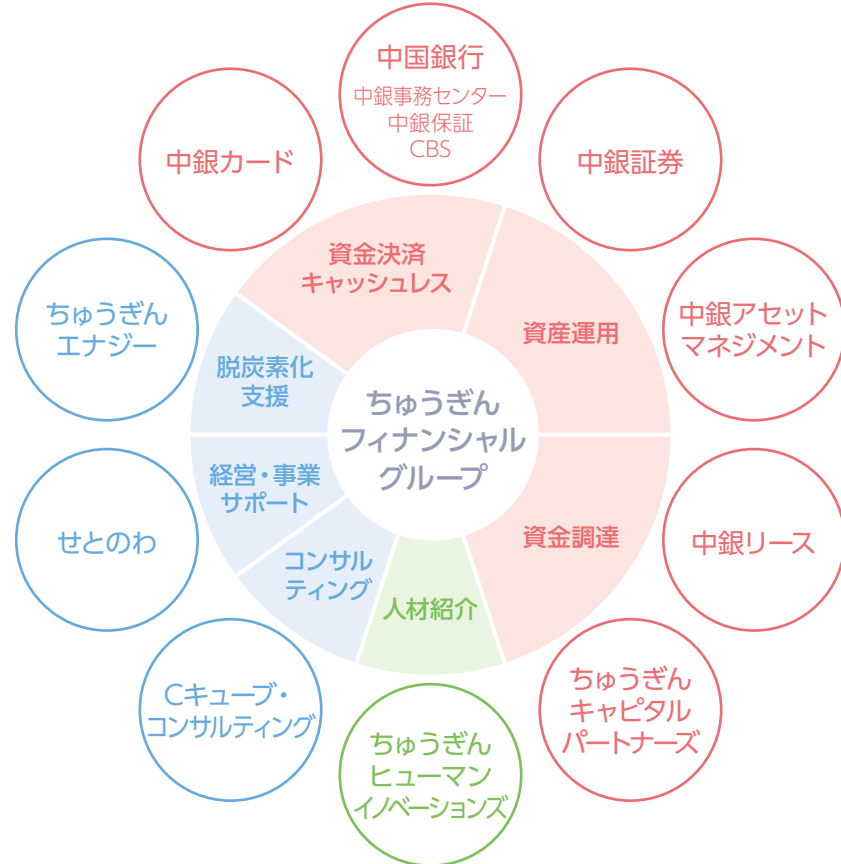
(2023年9月30日現在)

ちゅうぎんフィナンシャルグループは、格付投資情報センター(R&I)より「A」の格付けを取得しております。  
また子会社である中国銀行では、ムーディーズ社より「A2」、格付投資情報センター(R&I)より「A+」の格付けを取得しております。

## ちゅうぎんグループの概要

ちゅうぎんグループは、多様なグループ会社とともに金融を中心とした総合サービス業へ進化することで企業価値の向上に努めてまいります。

- 株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ  
銀行持株会社
- 株式会社中国銀行  
銀行業
- 中銀証券株式会社  
証券業務
- 中銀アセットマネジメント株式会社  
投資顧問業
- 中銀リース株式会社  
リース業
- 株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ  
ファンド運営業
- 株式会社ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ  
人材紹介業
- 株式会社Cキューブ・コンサルティング  
コンサルティング業
- 株式会社せとのわ  
地域商社
- 株式会社ちゅうぎんエナジー  
地域エネルギー脱炭素関連事業
- 中銀カード株式会社  
クレジットカード業務
- 中銀保証株式会社  
信用保証業
- 中銀事務センター株式会社  
銀行事務受託業
- 株式会社CBS  
銀行事務受託業



## 株式のご案内・状況

**決算期** 毎年3月31日に決算をおこないます。

**定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。

**配当金** 期末配当の基準日は毎年3月31日、中間配当の基準日は毎年9月30日といたします。

**基準日** 定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日といたします。その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。

**株主名簿管理人** 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関  
**三菱UFJ信託銀行株式会社**  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

### 【ご注意】

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

**公告方法** 電子公告とします。  
インターネットホームページ <https://www.chugin-fg.co.jp>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、岡山市において発行する山陽新聞および東京都において発行する日本経済新聞に掲載してまいります。

### 株式の状況 (2023年9月30日現在)

1. 資本金 16,000百万円  
2. 発行済株式総数 184,771千株  
3. 株主数 17,127名

### 大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,875	12.52
株式会社日本カストディ銀行	9,436	5.16
岡山土地倉庫株式会社	5,358	2.93
日本生命保険相互会社	4,756	2.60
倉敷紡績株式会社	4,559	2.49
シーピー化成株式会社	4,478	2.45
ちゅうぎんフィナンシャルグループ従業員持株会	4,417	2.41
明治安田生命保険相互会社	3,804	2.08
GOVERNMENT OF NORWAY(代理人:ソフィバク、I&I(野村))	2,911	1.59
静林業株式会社	2,370	1.29

※発行済株式数(自己株式2,163千株を除く)の総数に対する持株比率が上位となる10名の株主について、持株数の順に記載しております。

### 株式所有者別内訳 (2023年9月30日現在)

金融機関	その他の法人	外国法人等	個人その他
28.04%	27.53%	13.56%	29.04%
政府・地方公共団体 0.00%	金融商品取引業者 1.83%		

## 株主優待制度について

### 株主優待制度の対象となる株主さま

基準日(3月31日)現在の株主名簿に記録された500株(5単元)以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上保有(※)している株主さま

※「継続して1年以上保有」とは、基準日(3月31日)の株主名簿に記録され、毎年3月31日、6月30日、9月30日、および12月31日現在の株主名簿に同一株主番号で連続して5回以上記録されている株主さまといたします。

### 株主優待制度の内容

「岡山県特産品コース」「寄付金コース」「TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース」の3コースよりいずれか一つをお選びいただけます。





この挑戦が、未来となる。

## ちゅうぎんフィナンシャルグループ

発行 2023年12月

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ 経営企画部 広報センター

〒700-8628 岡山市北区丸の内一丁目15番20号 TEL.(086)223-3110

ホームページアドレス <https://www.chugin-fg.co.jp>



本誌は環境に配慮した  
植物油インキを  
使用しております。

本誌は見やすい  
ユニバーサルフォントを  
使用しています。